

# 令和8年度 第3回美里地域会議 会議録

日 時：令和8年6月11日（木）午後7時～8時

場 所：美里交流館 2階 中会議室

出席者：＜地域会議委員＞加藤 智江、小林 健一、清水 幸男、鈴木 智映子、  
高橋 重樹、手嶋 英之、野村 耕一、原 淑子、  
吉本 勝

（欠席）鈴木 美喜世、渡邊 慎大

＜高橋支所＞ 前田支所長、太田副支所長、河野主査

## ＜内容＞

### 1 豊田市民の誓いの唱和

### 2 会長挨拶

### 3 優先的取組事項に関する事前調査 集計結果報告

前回の会議で回収した「優先的取組事項に関する事前調査票」について、集計結果を委員へ報告した。

また、調査票には記載されていないものの、前回会議で委員から口頭でいただいた意見については、第2回会議録に整理して掲載し、併せて委員へ報告した。

### 4 提言に向けた事業案検討

上記の集計結果を踏まえ、市長への提言に向けて、地域会議として特に重視する事業案について協議を行った。

#### 【意見抜粋】

- ・地域住民が交流できる交流館・集会所・サロン等の場を充実させることが重要である。
- ・Web サイト等の活用を含め、自治区を超えた情報発信を強化する必要がある。
- ・スマホ講習会等を通じて情報収集の方法を学びながら、地域住民同士の交流を深める機会を増やしていきたい。
- ・ラジオ体操等への参加を呼びかけ、楽しみながら健康づくりを推進する。
- ・民間タクシー等の制度を活用し、通院・買い物・地域行事への参加を支援することで地域活性化につなげる。
- ・地域の情報をまとめた情報誌の発行を検討する。地域団体のチラシを挟み込むことで、活動のPRにもつながる。
- ・印刷物を発行する場合は、回覧ではなく全戸配布としたい。回覧では他資料に埋もれ閲覧されにくく、手元に残る資料として配布することが重要である。
- ・地域情報を浸透させることで、近隣住民との会話のきっかけとなり、地域全体のつながりの強化に寄与する。
- ・主目的は高齢者支援であるが、地域全体のつながりを考えると、子ども向け情報なども一部掲載することを検討したい。
- ・紙媒体だけでなく、二次元バーコードを活用し、スマホでも閲覧できる Web 媒体の作成を検討する。あわせて、その利用方法を含めたスマホ講習会の開催も有効である。
- ・情報誌の発行に合わせ、地域団体を集めて各種制度や活動内容を PR するイベント（仮称：地域会議フェスタ）を実施する。
- ・そのようなイベントは、単発ではなく定期開催できることが望ましい。

- ・参加者が「楽しそう」と感じられるよう、魅力的なイベント名称とすることが望ましい。
- ・地域の担い手不足は重要な課題であり、事業に地域を巻き込むことで担い手発掘につながる可能性がある。
- ・ボランティア活動を希望する住民は一定数いるが、活動内容やタイミングが合わず参加できない場合もあるため、意欲のある人を巻き込む仕組みが必要である。
- ・地域のボランティア活動には参加しやすい内容もあるが、活動自体が地域に十分認知されていない可能性がある。
- ・小学校等にボランティア登録している住民もいるため、学校との連携も視野に入れるべきである。
- ・地域で引き継げるマニュアルを作成し、身近な住民同士で支え合う仕組みを構築することが望ましい。
- ・大規模イベントのみならず、外出機会の少ない住民を外に誘い出せるローカルな事業も必要である。
- ・美里地区内の困りごとは自治区別に明確に分かれているわけではないため、自治区をまたいだ相談・解決を行い、地区全体で支え合える体制が望ましい。
- ・情報誌のように、地域住民を外に引き出すための情報提供は重要である。
- ・イベントの一環として、地域の河川等に桜や紅葉を植え、景観保全と魅力向上を図ることも有効である。あわせて、鑑賞会を実施することで地域住民の交流促進にもつながる。

協議の結果、美里地域会議としては「人とのつながりと地域参加の促進による高齢者支援」を重要な方向性とし、「情報誌の発行」「地域会議フェスタ（仮称）」「担い手づくり」などの事業を主に検討していくこととなった。

## 5 事務連絡

### 第4回美里地域会議について

- ・日時 令和8年7月9日（木）午後7時～
- ・場所 美里交流館 2階 中会議室